



2022年も気象変動に負けない米づくり！

酒田飽海の つや姫・雪若丸情報

第1号



令和4年4月15日発行

庄内総合支庁

酒田農業技術普及課

Tel.(22)-6521 Fax(22)-6522

初期生育の確保が安定多収への第一歩！

健苗育成で「つや姫」も「雪若丸」も好スタートを！

管内でも播種作業がすすめられています。田んぼの畦塗や耕起も始まっています。天候も良く作業は順調です。天候に左右されるのではなく、天候を味方につける米づくりをしたいものです。そのためには、計画とゆとりが必要です。まずは田植えまでの計画をしっかりと練り、あわてず、おこたらず、収量・品質・食味が揃った自慢の「つや姫」「雪若丸」を育てましょう。

1 健苗育成

- 下表は「つや姫」「雪若丸」の苗の指標です。葉数、苗丈、第一葉鞘高など指標を確認し管理を行いましょう。「はえぬき」に比較すると「つや姫」はやや苗丈が伸びやすく、「雪若丸」はやや短い特徴があります。



雪若丸 はえぬき つや姫

図 稚苗の品種の違い (H28.5.20 水田農業試験場)

苗の生育指標(稚苗)

	移植適期 葉数 (枚)	育苗 日数 (日)	播種量 (乾粳g/箱)	苗丈 (cm)	第1 葉鞘高 (cm)	乾物重 (/100本)	必要 苗箱数 (箱/10a)
つや姫	2.5	20~25	150~180	12~13	3.5以内	1.3g以上	23~24
雪若丸				11~12			

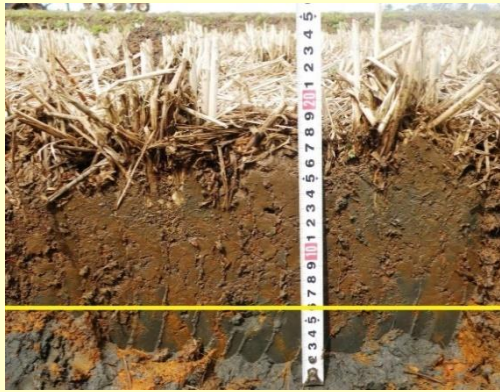
- ハウスには、温度計を設置しましょう。入り口付近の見やすいところ、温度が上がりにやすいところ、育苗箱付近(床土に挿す)など複数設置すると、こまめな管理に役立ち、自分のハウスのくせもわかります。
- 育苗期間中の管理の要点は、時期別の温度を適切にすることです。下の表を参考に、ぜひ取り組みましょう。昔から“苗半作”と言われるように、健苗育成が安定多収の第一歩です。

育苗期間中の温度管理の目安

時期		適温	標準葉数	管理の要点
出芽期		30~32℃	0~0.8	出芽まではマルチをし、適温を維持する。異常高温時には、遮光資材や換気で適温を保つ。
緑化期		25~15℃	0.8~1.0	日中は遮光資材をする、低温時には保温する。
緑化期以降	昼間	20~25℃	1.0~1.8	水かけは地温や気温が上がらない朝のうちにたっぷり、日中の水かけは地温が下がるのでできるだけ控える。異常高温時以外は、できるだけ日に当てる。荒天以外の日中は換気する。
	夜間	10℃以上		
硬化期	昼間	15~20℃	1.9~2.5	外気温にならすため、夜間も含めてハウスを開放する。乾きやすくなるので、乾いたら葉巻する前に水かけを行う。
	夜間	5℃以上		

2 圃場準備と土づくり

- 適正な土壌pH（5.5～6.0）に改善することで、田ワキ対策や地力の発現に繋がります。
- 有機物や土づくり肥料（ようりん 30kg/10a、ケイカル 120kg/10a 等）の施用で、土づくりを継続しましょう。
- 根域拡大（気象変動耐性向上）のため、作土深は 15cm 以上を確保しましょう。通常のロータリーでもゆっくり耕起することで 15cm 程度の作土深にできます。プラウやスタブルカルチによる深耕も効果的です。



すき床層の浅層化による根域の縮小

作業性を優先した耕起深が浅い圃場では、ロータリー耕や大型機械の踏圧により土壌が緻密化し、年々すき床層※が浅層化してくる傾向にあります。これにより作土・根域が縮小すると、気象変動への緩衝効果の低下、登熟不良といった影響が出ます。

※漏水を防止する効果がある一方、水稻の根の伸長阻害、透水性不良の原因となる緻密な粘土などの層

3 適正な生育を確保する本田施肥

- 「つや姫」「雪若丸」では、地力別の基肥窒素施肥量は右表のとおりです。
- 昨年までの生育や収量、品質、タンパク含有から施肥量の見直しは必要ないでしょうか。「生育が大きかった」、「葉色が濃く経過して穂肥を見合わせた」、「タンパク含有率が高かった」等の結果の方は基肥量から見直しましょう。
- 近年、「雪若丸」のタンパク含有率が高い傾向にあります。圃場の地力に合わせた施肥設計で、収量・品質を維持しつつ、タンパク含有率の適正化を図りましょう。

地力別本田窒素施肥(kg/10a)

品種名	地力高	地力中	地力低
つや姫	3	4	4~5
雪若丸	4	5	5~6

4 目標とする生育を確認しましょう

- 初期生育の確保が「つや姫」「雪若丸」では特に大切です。では、どのくらいを目標にしたら良いのか、右表で確認しましょう。生育確保の目安は茎数で行います。

表 目標とする生育

品種名	時期	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	1株あたりの目標生育の目安		葉色(SPAD)	葉数(枚)
				70株/坪	60株/坪		
つや姫	6月10日	27	250	11.8	13.7	35	6.7
	6月20日	35	460	21.7	25.3	39	8.3
雪若丸	6月10日	26	280	13.2	15.4	41	6.8
	6月20日	34	520	24.5	28.6	44	8.5

1株でも確認できます

- 初期生育を確保するため、重要な要素が植込み本数です。1株に多く植えこむ「大苗」は、1本ずつの環境が悪くなり安定生産には不向きです。植込み本数は、「つや姫」「雪若丸」とともに 100 本/m²程度とします。この際、1株当たりの植込み本数は 4～5 本とし、適正な栽植密度（70 株/坪程度）に設定しましょう。
- 活着後は保温的な水管理で分けつの発生を促し、6 月中に有効茎を確保します。また、高温時には、きめ細やかな水管理を行って、田ワキの発生を予防しましょう。



「春季農作業事故防止運動」展開中！ 4/10～6/10

「声かけあい、助けあい、農作業事故ゼロへ！」